

公立福生病院改革プラン 点検・評価書

(平成 29 年度)

平成 30 年 12 月

福生病院組合

1 はじめに

公立福生病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)は、平成 27 年 3 月に総務省から通知された「新公立病院改革ガイドライン」を踏まえ、平成 29 年度から平成 32 年度までの公立福生病院の経営に係る計画として、平成 29 年 2 月に策定しました。

改革プランについては、実施状況を毎年度点検及び評価行うこととしています。

今回、平成 29 年度の決算を受けて、改革プランの点検と自己評価を行ったことから、その結果について報告します。

2 点検・評価

(1) 数値目標の取組状況

<評価の基準>

- A 目標を上回ったもの
- B 概ね目標どおりのもの
- C 目標を下回ったもの

項目	H28 年度	H29 年度			自己評価	取組状況
	実績	目標	実績	達成率		
救急患者数/年間	6,395 人	6,661 人	6,624 人	99.4%	B	・救急外来の断り事例及び受入数上位医師名を医局に掲示することで、意識付けを行った。
救急車搬送数/年間	1,798 人	1,946 人	1,979 人	101.7%	B	同上。
紹介患者数/年間	7,046 人	7,785 人	7,075 人	90.9%	C	・紹介が減少した開業医、老健施設等へ訪問等を行う等の取り組みを行ったが、目標達成には至らなかった。引き続き地域連携の強化に努める。
逆紹介患者数/年間	5,207 人	4,833 人	5,844 人	120.9%	A	・各医師別に診察内容が薬の処方のみとなっている患者を逆紹介の候補者として一覧を配布。また、患者にかかりつけ医を持つことの啓発を行い、目標達成した。
退院前訪問指導件数/年間	77 件	48 件	81 件	168.8%	A	・退院支援担当看護師、病棟看護師で計画。病棟看護師単独で訪問を実施できるスキルを修得できた。
退院後訪問指導実人数/年間	29 人	12 人	26 人	216.7%	A	・退院前に退院後の訪問指導計画を検討し効果的に実施できた。
入院前サポート数/月 看護	-	210 人	37 人	17.7%	C	・入院前サポート窓口担当の欠員によるマンパワー不足のため目標達成に至らなかった。人員の補充及び態勢の整備に努める。

項目	H28 年度	H29 年度			自己 評価	取組状況
	実績	目標	実績	達成率		
入院前サポート数 /月 薬剤	-	110 人	111 人	101.1%	B	・薬剤部内のローテーション見直しにより対応時間を確保し、目標どおりの件数を実施。
入院前サポート数 /月 栄養	-	60 人	19 人	32.1%	C	・入院前サポート窓口担当の欠員によるマンパワー不足のため目標達成に至らなかった。人員の補充及び態勢の整備に努める。
患者満足度(入院)	97.0%	97.7%	97.2%	99.5%	B	・患者満足度調査を実施。目標を概ね達成。
患者満足度(外来)	94.7%	94.8%	94.0%	99.2%	B	・患者満足度調査を実施。目標を概ね達成。
経常収支比率	101.6%	100.4%	98.5%	98.1%	B	・新規加算取得による入院単価上昇、逆紹介推進による外来単価上昇、材料費削減等により、目標を概ね達成。
医業収支比率	90.1%	91.1%	88.6%	97.3%	B	同上。
単年度フリー・キャッシュフロー(百万円)	317	172	136	78.9%	C	・常勤医師不足により入院収益が伸びず、目標達成に至らなかった。引き続き常勤医師の確保に取り組む。
フリー・キャッシュフロー 残高(百万円)	1,448	1,586	1,584	99.8%	B	同上。
材料費削減率*1	-	2.5%	20.0%	800.0%	A	・ベンチマークの活用及び担当科の協力により、メーカーへの価格交渉と材料の切換を行い、削減目標を達成した。
医療機器購入時の 値引率	12.5%	10.0%	9.8%	98.0%	B	・入札により業者に競争させることにより価格を下げることができた。 ・今後も引き続き入札により価格競争をさせ、価格の引き下げに努める。
病床稼働率 急性 期機能病棟*2	73.1%	76.0%	73.0%	96.1%	B	・常勤医師不足により入院件数が伸びず、目標達成に至らなかった。
病床稼働率 地域 包括ケア病棟	74.9%	80.0%	82.7%	103.4%	B	・レスパイト入院や、他院からの転院患者を多く受け入れたことで目標を達成できた。

項目	H28 年度	H29 年度			自己 評価	取組状況
	実績	目標	実績	達成率		
常勤医師数(休職者除く)	55 人	60 人	56 人	93.3%	C	・医師紹介業者の活用、病院ウェブサイトでの募集等に取り組んだが、目標達成には至らなかった。引き続き常勤医師の確保に取り組む。

*1: 年度毎に削減対象と決めた材料の、対前年度での費用削減率

*2: 地域包括ケア病棟以外の病棟

(2) 数値目標以外の取組状況

<評価の基準>

- A 目標を上回ったもの
- B 概ね目標どおりのもの
- C 目標を下回ったもの

項目	取組状況(H29 年度)	自己評価
職員の生産性向上	・人事評価における BSC 目標の管理と昇任等への結果活用、職員満足度調査の結果を踏まえた業務管理を推進することにより、組織が期待する職員パフォーマンスの向上と職務に対する意欲向上に努めた。	B
病棟薬剤師の配置	・平成 29 年 10 月に配置完了し、病棟薬剤業務加算の算定を開始した。	B
病院機能評価の認定取得(準備)	・受審に向けたスケジュールを決定し、平成 30 年度より準備のための委員会及びワーキンググループを立ち上げ、平成 31 年度 9 月に受審することとした。	B
契約業務の見直し	・機械設備の保守契約に当たり、業者との価格交渉を行い減額に至った。	B